

第63回全日本勤労者弓道選手権大会 石川県代表選考会

H28.4.9（土）於：石川県立武道館弓道場

4月9日午後から開会式が行われた。水橋石川県弓道連盟会長より、本大会では予選は通過するがもう少しのところに入賞ができていないので、代表となるチームには頑張ってもらいたいと激励の言葉をいただき開会式が終了。すぐに競技が開始された。出場チームは7チーム、競技方法は1チーム3名、近的競技、的中制（射距離28m、36cm霞的使用）総的中数より上位2チームを県代表に選出する。

昨年の代表選考会ではハイレベルな戦いとなり、北國銀行と北川ヒューテックが代表権を勝ち取り、本大会でも勢いに乗った北國銀行が決勝トーナメントへ進出するも、一回戦で惜しくも涙を呑む形となった。リベンジに燃える両チーム、二年ぶりの出場を目指す、津田駒工業を始めとする各チームが虎視眈々と代表権の獲得を目指し、緊張感が漂う中、競技が開始された。

1回戦では、北國銀行、津田駒工業Aが7中で一歩リード、中村留精密工業、津田駒工業Bが5中で後を追う形に、北川ヒューテックは4中と出遅れてしまったがここから巻き返すことはできるのか。

続く2回戦、どのチームも的中が伸びない中、津田駒工業Aが9中、計16中となり、代表権を獲得。残り一枠は北國銀行が獲得した。

閉会式、水橋会長からの講評では、中る射で中てて欲しい、たまたま中った射ではいけない。もっと会での充実が欲しいと厳しい内容ではあったが、さらなる飛躍のための愛のムチで結んだ。





結果

順位	チーム名	的中数
1位	津田駒工業A	16中
2位	北國銀行	12中
3位	北川ヒューテック	10中
3位	中村留精密工業	10中
5位	津田駒工業B	8中
6位	県庁	7中
7位	北陸郵政	6中

「第63回全日本勤労者弓道選手権大会」に石川県代表として下記の2チームが出場。

平成28年6月10日～12日に愛媛県松山市で開催

★代表チーム紹介 ①県代表決定の感想 ②本日の結果分析 ③本大会へ向けての目標や課題

津田駒工業株式会社



監督 牧野 学
選手 奥平 健太
角 祐弥
咲川 雅敏

コメント（牧野監督）

- ① 昨年、予選会は2本差で、代表権を逃したため、なんとか出場権を獲得でき良かった。
- ② 団体的の中は、ほぼ練習どおり。ただ1本目の的中が練習より悪かった
- ③ 出る以上、頂点を目指したい。勤労者のような短期決戦ではとにかく1本目を詰めて波にのれるかがポイント。それを意識してやりたい。

株式会社北國銀行



選手 園 悟志（兼任監督）
米谷 隆
佐々木 浩二

コメント（園 監督兼選手）

- ① 的中数はともかく、昨年の雪辱を果たすためのスタートラインに立ててとりあえずホッとした。
- ② 大前の初矢が入らず、チーム全体の的中率を引き下げる結果となってしまった。
- ③ 目標は優勝。早気の克服とメンタルの強化に励み、昨年のリベンジを果たす。